

議員政策力フォーラム 第3回 質問力研修

2012年2月18日(土) ~ 19日(日)

本プログラムは、一般質問を素材に自治体議会議員の質問力を上げ、それを通じて政策提案能力さらに政策形成能力を伸長させるための短期集中研修です。自治体議会議員の方、議員を志望する方を対象とします。

実際に行われた一般質問を、議員、また議会答弁経験豊かな元・現自治体職員及び研究者のアドバイザーで構成する少人数グループで検討し、これを通じて監査力や政策提案力のある一般質問作成のための理論、理念、コツや技法を学びます。



京都府立大学 京都政策研究センター
龍谷大学LORC (地域公共人材・政策開発リサーチセンター) 共同開催

さらにプログラム充実!

本研修の概略と獲得目標

議 会改革の動向が大きく注目されています。議会の縮小を主張する声もありますが、逆に、議会と長の二元代表制のもとで議会が果たす機能・役割の重要性は高まっていくことでしょう。議会またそれを支える議員の「力」がますます重要となります。

本研修は、「市民の議会」を支える議員の政策力(意思・理念と能力・技術)、なかでも議会での一般質問に焦点を当て、実際に参加者が行った一般質問の分析や検証の議論を通じて、「質問力」を伸ばすことを目的としています。

一般質問は、議員としての活動のうち、直接にまた公式に地域政策のあり方に関与する場です。市民に公開され、議員の「政策力」が直接量られる機会ともいえます。政策力とくに一般質問の「質問力」の伸長は、議員にとって活用の機会が多い能力開発となるでしょう。さらに、議会ごとにおかれる政策提案の機会が、すぐれた質問と応答によって活性化することは、議会の活性化にも直接資することになります。

本研修は、議員有志の協力を得た龍大LORC第2研究班(〜10)で開催・試行され、本年度は京都府立大学京都政策研

究センター、龍大LORC、地域協働総合センターが共同で実施してきました。参加者からは毎回極めて高い評価をいただき、第2回では満足度平均4.7点(5点満点)となりました。そのポイントは2人のアドバイザーがつく、少人数の高密度なグループディスカッションにあります。今回はその時間をさらに長く、より深い検討をめざします。

本研修の獲得目標

本研修は、以下4点を獲得目標とし、地域政策形成過程の議会および議員の今日的機能、議員提案の機能、意義について理解を深めることを目的とします。

1. 議会提案能力の前提となる、地域政策課題、自治体運営について理解を深める。
2. 一般質問を主たる素材として、政策課題の発見、分析、提案、評価の手法を洗練する。
3. 一般質問を素材に議論を行い、議員間および異なるセクターの主体との間における議論する力を伸ばす。
4. 研修プログラムを通じ、議会提案事例の蓄積、人的ネットワークの充実をめざす。

開催要項

2月18日(土)

13:30 受付

14:00 開会・企画趣旨説明

14:10-16:00 基調講演

増田寛也氏 京都府立大学客員教授
(元岩手県知事・元総務大臣)

「地方議会・議員を中心とした地方自治の諸課題：知事と総務大臣の経験を踏まえて」

16:15-17:30 グループワーク1

基調講演をふまえ、自身の議員活動や一般質問などについて議論します。

2月19日(日)

09:30 グループワーク2

11:15 グループワーク3

参加者が実際に行った一般質問から、その意図を生かし質疑を活性化させるため、検討、分析、議論します(間にお昼休みを1時間とります)。

16:00-17:00 全体発表、終了

修了者には修了証が授与されます。

会場

龍谷大学 ともいき荘

〒602-8019京都市上京区室町通下長者町
通下ル近衛町38番地 TEL 075-366-5303
京都市営地下鉄丸太町駅 徒歩8分

特徴あるグループワーク

「参加者6名、アドバイザー2名（政策系研究者1名+議会答弁の経験ある自治体職員1名）」でグループを構成します。

参加者には事前に、ご自身が経験し、不十分なし未消化であったと思われる

一般質問の議事録をご紹介します。初日のグループワーク1では自己紹介を兼ね、一般質問への姿勢や講義の内容について議論します。二日目のグループワーク2ではそれぞれの一般質問の趣旨、経緯を参加者自身が解説します。グループワーク3ではそれぞれの質問を分析・議論し、どこに改善点があるかを発見します。参加者の発見を共有し、より質の高い一般質問作成のための技法を高め、視点を深めることをめざします。

参加者、アドバイザーでの議論を通じて、参加者どうしの経験の共有、アドバイザーそれぞれの視点の提供があり、質問の論点整理や構成また事前事後の情報収集などの向上が期待されます。

参加される方にはあらためて詳細をお伝えします。

基調講演

増田寛也氏（府立大客員教授、元岩手県知事・元総務大臣）をお迎えし、大都市制度や議会改革などの地方自治をめぐる最新の動きを踏まえ、地方議会・議員の諸課題や改革の方向性についてお話いただきます。

お申し込み／お問い合わせ

参加費：15,000円

定員：約20名（お申し込み順）

※懇親会は別途会費を申し受けます。

申込：下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込み下さい。e-mailでも受け付けます。

申込締切：2012年1月20日（金）

問合せ先：下記申込書をご覧下さい。

政策系研究者を
各テーブル1名配置
窪田好男（京都府立大）
土山希美枝（龍谷大）
南島和久（神戸学院大）
の各氏を予定しています

日付	時間	内容
2月18日 (土)	14:00-14:10	開会・企画趣旨説明
	14:10-16:00	基調講演と質疑応答
	16:15-17:30	グループワーク（1）
	18:00-	懇親会
2月19日 (日)	9:30-11:00	グループワーク（2）
	11:15-15:45	グループワーク（3） （昼食休憩 1時間）
	16:00-17:00	全体発表、修了証授与、閉会

●2月18日（土）

基調講演

増田寛也氏 京都府立大学客員教授（元岩手県知事・元総務大臣）

「地方議会・議員を中心とした地方自治の諸課題：知事と総務大臣の経験を踏まえて」

グループワーク（1）自己紹介、講義の振り返りと一般質問懇親会 各議会の個性や独自の文化を語りあう機会を用意しています。ぜひご参加を。

●2月19日（日）

グループワーク（2）素材となる一般質問事例の内容、経緯をそれぞれ説明。

グループワーク（3）それぞれの一般質問を検証し、視角、論点提起、質疑応答のより効果的な方策を議論します。

全体発表

各グループの成果を共有し、総括します。

参加者には修了証が授与されます。

各グループワークでは、議会対応経験の豊かな自治体職員、政策系研究者の2名がアドバイザーとして各テーブルに入ります。

参加申込書

お申込順 1/20締切

締め切り日にかかわらず定員となった場合には締め切らせていただきます。お早めにお申し込み下さい。

京都府立大学

京都政策研究センター

電話・FAX 075-703-5319

担当：奥谷・黒澤

localpoliticians@gmail.com

お申込日	(事務局使用欄)		
お名前	所属議会		
ご住所			
お電話	E-mail		
備考等			